

学校応援プロジェクト 2025 年度活動報告 東大和市立第四中学校キャリア教育プロジェクト

9月10日（水）に東大和市立第四中学校の生徒さん約180名をお招きし、今年度2回目となるキャリア教育プロジェクトを実施しました。今回のプロジェクトでは、中学3年生に大学について興味を持ってもらい、進学や将来について考える機会とすることをねらいとしました。

当日は37名のプロジェクトメンバーが参加し、ホールで「大学ガイダンス」を実施した後、5クラスに分かれ、クラス毎に「アイスブレイク」「キャリア相談」「キャンパスツアー」を実施しました。また、大学生による授業を13コース設定し、中学生のみなさんに希望の授業を受けてもらいました。



キャンパスムービー

朝、生徒のみなさんの集合が完了するまでの時間を利用して、ホールで大学紹介としてキャンパスムービーを上映し、多摩キャンパス以外のキャンパスも紹介しました。みなさん熱心に見ていただけ、多摩・茗荷谷・市ヶ谷それぞれのキャンパスの良さを知ってもらえたと思います。施設だけでも中央大学とはこのような大学なのだとイメージがわかつてもらえたと思います。

大学ガイダンス

最初のプログラムは「大学ガイダンス」です。とても関心をもって参加してくれました。大学とはどのようなところなのか、どれくらいの学部があるのか、なぜ大学で学ぶのかなど、なぜ今勉強するのかを意識してもらえるような内容になったと思います。中央大学について、「大学は具体的にどれくらいの大きさ?」「蔵書数はおよそ何冊?」といったように興味を引くために、クイズ形式にするなどの工夫をしました。「大学の広さは・・・ディズニーランドと同じくらい!」の回答には、中学生のみなさんはとても驚いていました。クイズは好評で、中学生は元気に答えてくれました。楽しみながら大学について学んでもらえました。

-課外活動-	
中学	大学
顧問の先生がいる	代表は大学生自身
活動時間：指定	活動時間：サークルごと
1種目につき1つの部活	1種目につき複数のサークル
場所：学校中心	場所：様々な施設



アイスブレイク

授業の前の緊張をほぐす目的で一回目はあたまおしりゲーム、二回目は共通点探しゲームを実施しました。あたまおしりゲームでは各々頭をひねり、班員と試行錯誤しながらより長い単語を見つけようと頑張っていました。このゲームは初め少し難しいように思われましたが、徐々に自分

の知っているスポーツ選手から答えを見つけ出すなど、各々の個性を発揮した回答が見られ、とても楽しそうに話し合っていました。共通点探しゲームでは、答えが揃ったことで共通の趣味や好みを喜ぶ班や、逆にどのように得点を取りにいくか作戦を立てる班もありました。それぞれが提示する回答は個性的で面白いものばかりでした。和気あいあいとした雰囲気の中で次の授業やキャリア相談に繋げられたように思います。

授業

「『科学的真理』を歴史学から考える —ウェグナーと大陸移動説—」 「『らしさ』ってなんだろう？」 「くずし字で百人一首を読もう！」 「公害から考える歴史学 ~新潟水俣病を中心に~」 「自分だったらどうする！？~部活動での事例からいじめを考えよう～」 など、学生が大学での学びから考え、工夫した12の授業を展開しました。学校の授業とは違ったテーマでの学習に、生徒のみなさんはとても興味をもって参加してくれました。

NO.	授業テーマ
1	Do you know 「戯書」？ ～実際に「戯書」に触れてみよう～
2	自分だったらどうする！？ ～部活動での事例からいじめを考えよう～
3	「SOGI ESCからはじめるジェンダー・セクシュアリティ」
4	「科学的真理」を歴史学から考える —ウェグナーと大陸移動説—
5	「あなたは正解できる？ 日常物理クイズ」
6	公害から考える歴史学 ～新潟水俣病を中心に～
7	くずし字で百人一首を読もう！
8	マジックの種明かしを 一緒に考えてみよう！
9	「らしさ」ってなんだろう？
10	警察？探偵？ストーカー？ やっていることは紙一重 SNSでユーザー観察
11	Scratchでゲームを作ろう！
12	『 Let's make kotowaza ! 』
13	『 Let's make kotowaza ! 』

キャリア相談

1班6名の中学生に大学生1名が担当して、相談活動を行いました。大学生は教科書を使いながら大学の授業や時間割を紹介したり、大学の特色や高校や大学での進路選択の思いなどを紹介したりしていました。中学生のみなさんは、特に大学の教科書やサークル活動などのように、大学のホームページで調べてもあまり出てこないような学生生活の話題に興味を示していました。担当学生を変えて、20分の相談活動を2回行いました。大学生それが専攻や得意分野が異なるため、様々な考え方や情報を提供できる場になったと思います。アイスブレイクでの交流に続き、盛り上がった相談会の様子が見られました。

キャンパスツアー

キャリア相談をした班で、担当した学生と一緒に約40分のキャンパスツアーを実施しました。普段訪れる事のない大学のキャンパスを見て回るキャンパスツアーは、特に楽しんでいたように思います。図書館を訪れた時には、ガイダンスの中で蔵書数の紹介があったこともあり本の多さと施設の広さに驚いている様子でした。また、大学生は準備しているツアーガイドを参考に、施設ごとにクイズ形式で紹介する様子が見られ、中学生は移動時間も生き生きと会話をしていました。

9時から14時までの短い時間でしたが、中学生と沢山の交流ができたと思います。事後アンケートでは、「とても楽しかった！」 「話を沢山してくれたので楽しかったです」といった声を多くいただきました。また、「大学生の一日のスケジュールを教えてくれたのでとても良い勉



強になりました」 「大学について興味を持つことができました」 「大学についてもキャンパスや学部など様々な面で多くのことを知れて勉強になりました」 という感想が多くみられ、今回の目的であった進学や将来について考えてもらう機会を提供しそれを受け取ってもらえたことが、プロジェクトメンバーにとって非常にうれしいことでした。

今回のキャリア教育プロジェクトは準備期間が夏休みということで、参加メンバーを集めることや定期的に開催しなければならないミーティングの実施が課題となりました。初参加で、プロジェクト当日のイメージがなかなか持てないメンバーも少なくありませんでしたが、それぞれが高い意識で積極的に準備を進めてくれたことで、実りある当日を迎えることができたと思います。

東大和市立第四中学校の皆さん、参加していただきありがとうございました！

